

令和2年 9月

東京都中学校 理科教育研究会
地区代表理事の皆様
会員の皆様

都中理 広報部長
西東京市保谷中学校
校長 遠藤 淳

第二回都中理 開発教材コンテスト（令和3年1月6日予定都中理研修会にて）

（第一回参加教材を裏面に掲載しています。）

地区代表理事の皆様には日頃より都中理の活動のご協力いただきありがとうございます。

都中理では2023年度の全中理 東京大会に向け、全国の理科教育の一層の発展と少しでも会員の皆様の日頃の教育活動に協力できればと思い、上記の開発教材コンテストを実施いたします。

都内には、1800人もの国公立中学校理科教育に関わる理科の先生方がいらっしゃいます。皆さん日々の教材研究等に尽力されているおかげで、中等教育における日本の理科教育は世界でもトップと言える成果を挙げています。毎年定期的に都内各地区で行われている研修会や研究授業や個人の研究・研修によって、理科教員一人一人の指導力の向上が着実に図られているというものの世界的には稀なことです。教材や指導法に関する情報交換やお互いの疑問をフォローし合うということが組織的に行われているというのも素晴らしいことです。都中理でも微力ながら会員皆様のお役に立ちたいと努力しているところです。

今年度も、そんな中でも1800人の中にいらっしゃる更に優れた先生方の英知を都内の理科教員のためにご紹介いたしたく、上記のようなコンテストを実施することにいたしました。（豪華な副賞も用意されています。昨年度は4万円・1万円の旅行券・5000円の図書券）

各地区代表理事、各校の理科主任の先生には、是非、このような機会があることを皆様にお知らせいたしたくと同時に、オリジナリティーあふれる素晴らしい教材（ソフトも含む）を開発し、生徒の理科への興味を大きく膨らませ、理科好きな生徒をたくさんご指導いただいている先生のご応募をお待ちしています。またそのような先生（グループ応募可）をご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

素晴らしい教材・指導法を実践されている先生、もしくは、具体的には知らなくても工夫を凝らした授業を展開されているといううわさのでも結構ですので、そんな先生を下記までご紹介ください。 よろしくお願いたします。（自薦他薦を問いません。グループ参加も可能です。）

ご本人へ具体的にコンテストへの参加が可能か等については広報部より相談させていただきます。

審査の4観点 ①生徒の興味・関心を高める教材である。②生徒の理解が深まる教材である。
③どんな先生にも使いやすい教材である。④今までにないオリジナルな教材である。

問い合わせ 都中理 広報部長 遠藤 淳（西東京市立保谷中学校 校長）

042-465-0604 jp-houya@nishitokyo.ed.jp